

新教材の特色(1/2)



高学年用新教材（We can!）は、3年生からの外国語活動を70時間経験してきた児童が活用することを想定して作成されています。内容的にも高度な印象を受けるとは思いますが、移行期間中に新学習指導要領の外国語教育のイメージがもてるよう、今後2年間、有効に活用していきましょう。

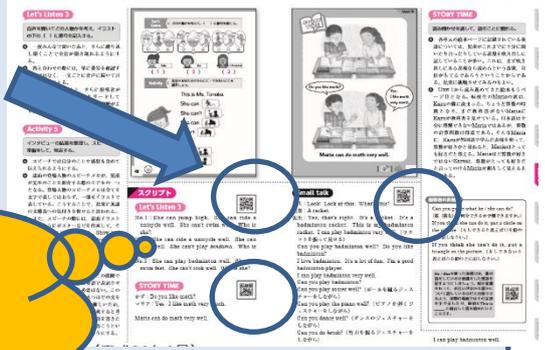
新教材の特色について、次号と併せて何点か紹介させていただきます。

●Small Talk 等の活用

QRコードが教師用指導書に掲載されています

スマホやタブレットで読み取れば、先生方の予習用として、また授業中にも活用できる便利な機能です。

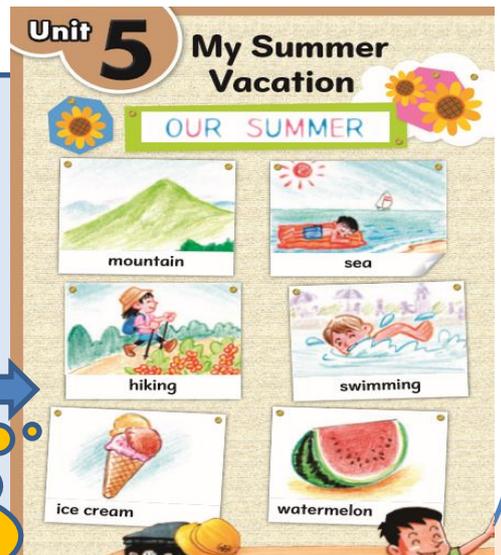
既習語句や表現を繰り返し活用することで、定着を図ったり、対話の続け方を身に付けたりできるよう工夫されています。先生方も子どもたちと一緒に英語を使いながら活用していきましょう。



●三人称や過去形の扱い

- ・5年生ではUnit 5で三人称（He・She）を導入しましたが、canを伴っているため、三単現のsは出てきません。また、疑問文や否定文も扱いません。
- ・6年生のUnit 5では過去形を扱います。saw/went/ate/enjoyedなど限られた単語ですが、音の違いが分かりやすいこともあり、不規則動詞を多く扱っています。

夏休み中に訪れた場所を伝える際に必要な過去形の単語を扱うなど、児童が言いたいことを表現できる活動が設定されています。



ALT 研修（緑小会場）



11月8日（水）、今年度4回目のALT研修を行いました。4年1組担任の小林利幸先生とKarl先生のチームティーチングの授業を参観させていただき、その後ALT全員で授業に関する協議を行いました。

本時のテーマは「スポーツ」。導入場面では、学習テーマを示す前に先生方がデモンストレーションを行い、“What is today's topic?”と質問を投げかけ、興味関心を高めていました。日頃よく耳にするスポーツ名前ですが、日本語と英語の音の違いについて気付きのある授業でした。ありがとうございました。

文責：稲葉亜希恵